

# 多言語音声翻訳システムの研究開発と社会実証を通じて 2020年には広く普及している状態を目指します

## 現在

**民間事業者等** 様々な分野における多言語音声翻訳システム活用の広がり

<p><b>バリアフリー</b></p>  <p>コミュニケーション支援アプリ</p>	<p><b>救急</b></p>  <p>救急隊用翻訳アプリ</p>	<p><b>医療</b></p>  <p>医療現場向け翻訳システム</p>	<p><b>交通</b></p>  <p>交通機関等の翻訳システム</p>
<p><b>ロボット</b></p>  <p>多言語翻訳対応ロボット</p>	<p><b>自治体</b></p>  <p>自治体向け翻訳システム</p>	<p><b>観光</b></p>  <p>外国人観光客向けの翻訳システム</p>	<p><b>接客</b></p>  <p>接客シーンに最適なシステム</p>

## 総務省 多言語音声翻訳システムのさらなる高度化

**利活用実証** 全国各地の店舗等で翻訳アプリを活用し、インターフェースの改善等に役立てるための実証を実施

**研究開発** 医療、タクシー等の様々な現場で実用化技術の実証を実施

**誰もが使いやすいシステムの実現**

**様々なイベントでの活用** スポーツイベント、災害時の訓練等の様々な場面で翻訳システムを活用

外国人とのゲーム等の交流に活用 (U14サッカー大会)

外国人の避難誘導に活用 (災害時を想定した訓練)

**雑音抑圧技術** **特殊文字認識技術**

**翻訳自動学習技術** **位置情報活用技術**

**多言語音声翻訳プラットフォーム開発**

防災分野 (Griping pain / キリキリ痛む)

タクシー分野 (★※まで行って下さい / To the Las!)

医療分野 (I'll take your luggage to your room. (お部屋までお運びします。))


## 情報通信研究機構 多言語音声翻訳システムの研究開発

研究成果を反映させた翻訳アプリ **VoiceTra** のリリース (2015.10～)

**対応言語の拡大** 31言語\* に対応

**翻訳精度の向上** 観光、医療、スポーツ等関連の単語や表現をさらに拡大中

**NICT** 国立研究開発法人 情報通信研究機構



## 2020年

**広く社会に普及 (社会実装)**

**観光** 街中での案内 (ボランティアなど) のサポート

**鉄道** 案内業務

**ショッピング** ハンズフリーでの対応

① Apakah anda memiliki warna lain? ② 色違いはありますか。

③ お調べします。赤色があります。 ④ Mari saya periksa. Ada merah.

**医療** ① 我的肚子疼 ② おなかが痛い

病院での診療

**タクシー** 多言語コンシェルジュサービス

▽ タブレット端末 (後部座席)

車載ディスプレイで会話サポート

**様々な技術との融合** 人工知能(AI)を活用した自動応答サービスロボット等

## さらなる高度化に向けた2030年への課題 多様な言い回しへの対応、同時翻訳など。

\*31言語 (赤字は2020年を目途に実用レベルの翻訳精度を達成する主要10言語を示しています。)

日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ミャンマー語、アラビア語、イタリア語、ウルドゥ語、オランダ語、クメール語、シンハラ語、台湾華語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、ネパール語、ハンガリー語、ヒンディー語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語、ポルトガル語 (ブラジル)、マレー語、モンゴル語、ラーオ語、ロシア語

# ◆グローバルコミュニケーション開発推進協議会

多言語音声翻訳技術の高度化と社会展開を産学官連携で推進しています。

## ○ 会長

須藤 修 東京大学大学院情報学環 教授

## ○ 副会長

篠原 弘道 日本電信電話株式会社代表取締役副社長

宮部 義幸 パナソニック株式会社代表取締役専務

徳田 英幸 国立研究開発法人情報通信研究機構理事長

## ○ 会員：160 会員（平成29年4月17日現在）

通信事業者、通信機器メーカー、医療機関、公共交通機関、流通業者、旅行代理店、自治体 ほか

## 政府の各種政策でも多言語音声翻訳システムのさらなる進化・普及拡大が期待されています！

### ➤ 明日の日本を支える観光ビジョン -世界が訪れたい日本へ- (平成28年3月30日 明日の日本を支える観光ビジョン構想会議決定)

視点3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に

■ソフトインフラを飛躍的に改善し、世界一快適な滞在を実現

- 無料Wi-Fi環境の整備促進や、…多言語翻訳システム…などにより、ストレスフリーな通信や交通の利用環境を実現します。

通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きできる環境の実現

- 誰もが一人歩きできる観光の実現等に向け、以下の取組を実施。

・ 2020年までに、病院・商業施設等における多言語音声翻訳システムの社会実装化

### ➤ 日本再興戦略

第2 具体的施策 (平成28年6月2日 閣議決定)

I. 新たな有望成長市場の創出、ローカルアベノミクスの深化等

4. 観光立国の実現

(2) 新たに講ずべき具体的施策

iii) 未来社会を支える情報通信環境整備

⑦ 通信環境の飛躍的向上と誰もが一人歩きできる環境の実現

・ 2020年までに社会実装化を図るとの目標に向け、世界の「言葉の壁」をなくしグローバルで自由な交流を実現する「グローバルコミュニケーション計画」を着実に進める。そのため、多言語音声翻訳技術の精度を向上させるとともに、旅行会話に加え、減災・防災分野や生活分野への技術の拡大を図る。また、多言語音声翻訳システムの認知度向上と更なる普及拡大に向けて、地方の商業施設や観光地等での実証実験を行う。

など多数

## 問い合わせ先

総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課研究推進室

TEL : 03-5253-5730

Mail : gcp.mic@soumu.go.jp

# グローバルコミュニケーション計画



様々な会話を高精度に翻訳できる多言語音声翻訳システムで、世界の「言葉の壁」をなくし、自由な交流を実現

- ✓ 医療機関やショッピング等における会話の多言語対応を実現し、外国人が暮らしやすい国を実現
- ✓ ますます増えている訪日外国人を「おもてなし」をし、日本各地の魅力の一層の向上に貢献

